

「初等中等教育における GIS を活用した授業に係る優良事例表彰」の選定結果について

このたび、地理情報システム学会では、初等中等教育現場において GIS（地理情報システム）を実践的に活用した授業の普及・展開の契機とするため、授業において先導的な組みを実践している教員を対象とする表彰制度を創設し、事例を募集いたしました（7月12日に本HPに掲載）。

（主催：地理情報システム学会、共催：毎日新聞社、後援：国土交通省、日本地理学会、人文地理学会、日本国際地図学会）

その結果、9件の応募があり、先月19日に地理情報システム学会、毎日新聞社、国土交通省、文部科学省から構成する審査委員会を開催し、表彰事例を選定しましたので、以下にご案内いたします。

- ・国土交通大臣賞（総合的な観点）
慶應義塾普通部 太田 弘 殿
- ・地理情報システム学会賞（GISの効果的な活用の観点）
岡山県立岡山一宮高等学校 森 泰三 殿
- ・毎日新聞社賞（教育上の効果の観点）
静岡県立吉原高等学校 伊藤 智章 殿

なお、選定された受賞者には、平成22年9月19日(日)～9月21日(火)に横浜市で開催されるG空間EXPO（公式webサイト：<http://www.g-expo.jp>）の中で、9月20日に本学会が主催するシンポジウム「GIS教育の新たな展開：大学教育と社会人教育」

（http://www.g-expo.jp/details/p_details09.html）

において表彰式を執り行うとともに、

同日に国土交通省国土計画局が主催する「初等中等教育におけるGISセミナー」

（http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/gis/gis/Symposium_1.pdf）

において、事例発表をして頂く予定です。